

入札説明書

平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務

[全省庁共通電子調達システム対応]

環境省

はじめに

本平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務の入札等については、会計法（昭和22年法律第35号）、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）、契約事務取扱規則（昭和37年大蔵省令第52号）、その他の関係法令及び環境省入札心得（別紙）に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1. 契約担当官等

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 大竹 敦

2. 競争入札に付する事項

- (1) 件名 平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務
- (2) 特質等 別添仕様書による。
- (3) 業務期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日
- (4) 業務場所 熊本県水俣市浜4058-18
国立水俣病総合研究センター
- (5) 入札方法
落札者の決定は、最低価格落札方式をもって行うので、
ア. 入札者は、業務に係る経費のほか、納入に要する一切の諸経費を含め契約金額を見積もるものとする。
イ. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数がある時は、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の108分の100に相当する金額を記載した入札書を提出しなければならない。
- (6) 入札保証金及び契約保証金 免除

3. 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 環境省から指名停止措置が講じられている期間中の者でないこと。
- (4) 平成25・26・27年度環境省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」の中で営業品目「建物管理等各種保守管理」又は「その他」において、開札時まで「A」、「B」又は「C」級に格付けされ、九州・沖縄地域の競争参加資格を有する者であること。
- (5) 入札説明書の交付を受けた者であること。
- (6) 別紙の業務請負条件を満たした者であること。
- (7) 環境省入札心得において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約できる者であること。

4. 契約条項を示す場所等

契約条項を示す場所

〒867-0008 熊本県水俣市浜4058-18

国立水俣病総合研究センター総務課経理係 青池 美江子

電話0966-63-3111 F A X 0966-61-1145

5. 競争執行の日時、場所等

(1) 入札・開札の日時及び場所

日時 平成27年3月20日(金) 16時00分

場所 国立水俣病総合研究センター内会議室

熊本県水俣市浜4058-18

(2) 入札書の提出方法

ア. 電子調達システムによる入札の場合

環境省入札心得に定める様式2を提出し、その後、入札書を(1)の日時まで提出するものとする。

イ. 書面による入札書の場合

環境省入札心得に定める様式3による書面を平成27年3月18日(水)12時まで提出すること。

また、環境省入札心得に定める様式1による入札書を(1)の日時及び場所に持参すること。電話、F A X、郵送等による提出は認めない。なお、入札書の日付は、入札日を記入すること。

ウ. 入札者は、その提出した入札書の引換え、変更又は取消しをすることができない。

(3) 入札の無効

本入札説明書に示した競争参加資格のない者又は入札条件に違反した者の提出した入札書は無効とする。

6. 落札者の決定方法

(1) 有効な入札書を提出した入札者であって、当該入札者の入札価格が予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であり、かつ、最低価格をもって入札を行った者を落札者とする。

(2) 最低価格により落札者となった場合でも、落札者となるべき者の入札価格によっては、当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした他の者のうち、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とすることがある。

7. 入札に関する質問の受付

- (1) この入札説明書、仕様書等に関する質問がある場合は、次に従い書面（様式は任意）により提出すること。
- ア. 提出期限 平成27年3月16日（月）12時まで
（持参の場合は、12時から13時を除く）
- イ. 提出場所 4の場所
- ウ. 提出方法 持参又はFAXによって提出すること。
- (2) (1)の質問に対する回答は、平成27年3月17日（火）17時までにFAXにより行う。

8. 暴力団排除に関する誓約

当該業務の入札については、環境省入札心得において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約の上参加すること。なお、書面により入札する場合は、誓約事項に誓約する旨を入札書に明記することとし、電子調達システムにより入札した場合は、誓約事項に誓約したものと取り扱うこととする。

9. その他

- (1) 入札結果の公表
落札者が決定したときは、入札結果は、落札者を含め入札者全員の商号又は名称及び入札価格について、開札場において発表する。
- (2) 電子調達システムの操作及び障害発生時の問い合わせ先
全省庁共通電子調達システムホームページアドレス <https://www.geps.go.jp/>
ただし、入札の締め切り時間が切迫している等、緊急を要する場合には、前記4の場所に連絡すること。
- (3) 契約締結日までに平成27年度の予算（暫定予算を含む。）が成立しなかった場合は、契約締結日は、予算が成立した日以降とする。
また、暫定予算になった場合、全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とする場合がある。

◎ 添付資料

- ・別紙1 業務請負条件
- ・別紙2 環境省入札心得
- ・別添1 契約書（案）
- ・別添2 仕様書

平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務に関する業務請負条件

平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務については、Discovery MR750 システム又はそれに類する機器管理に係る高い専門性の確保が必要となる。

以上の観点から、下記に従い業務請負条件に係る確認書類を提出すること。

記

(1) 提出書類 (別添様式)

- ① 平成25・26・27年度環境省競争参加資格 (全省庁統一資格) の写し
- ② Discovery MR750 システム又はそれに類する機器の保守点検業務を実施した業務実績が確認できる書類 (契約書及び仕様書の写し)

(2) 提出期限等

- ① 提出期限
平成27年3月18日 (水) 12時
- ② 業務請負条件に係る書類の提出場所及び作成に関する問合せ先
入札説明書4に同じ
- ③ 提出部数
1部
- ④ 提出方法
持参又は郵送 (提出期限必着) による。
郵送する場合は、書留郵便等の配達記録が残る方法に限る。
- ⑤ 提出に当たっての注意事項
 - ア 持参する場合の受付時間は、平日の9時から17時まで (12時～13時は除く) とする。
 - イ 郵送する場合は、封書の表に「平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務に関する業務請負条件書類在中」と明記すること。提出期限までに提出先に現に届かなかつた業務請負条件書類は、無効とする。
 - ウ 提出された業務請負条件に係る書類は、その事由の如何にかかわらず、変更又は取消しを行うことはできない。また、返還も行わない。
 - エ 虚偽の記載をした業務請負条件に係る書類は、無効とするとともに、提出者に対して指名停止を行うことがある。
 - オ 業務請負条件に係る書類の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。
 - カ 提出された業務請負条件に係る書類は、国立水俣病総合研究センターにおいて、業務請負条件の審査以外の目的に提出者に無断で使用しない。一般競争の結果、契約相手になった者が提出した業務請負条件に係る書類は、行政機関の保有する情報の公開に関する法律 (平成11年法律第42号) に基づき開示請求があつた場合においては、不開示情報 (個人情報、法人等の正当な利益を害するおそれがある情報等) を除いて開示される場合がある。

(3) 審査結果の回答

平成27年3月19日 (木) 17時

なお、審査結果通知書の発出にあたっては、原本の郵送に先行して指定された宛先にFAXによる事前送信を行う。

(別添様式)

平成 年 月 日

支出負担行為担当官
国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

所在地
商号又は名称
代表者氏名

印

平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務
に関する業務請負条件書類の提出について

標記の件について、次のとおり提出します。
なお、書類の提出にあたり、暴力団排除に関する誓約事項に誓約します。

- ① 平成25・26・27年度環境省競争参加資格（全省庁統一資格）の写し
- ② Discovery MR750 システム又はそれに類する機器の保守点検業務を実施した業務実績が確認できる書類（契約書及び仕様書の写し）

(担当者) 所属部署： 氏 名： TEL/FAX： E-mail：

環境省入札心得 (物品役務 最低価格落札方式)

1. 趣旨

環境省の所掌する契約（工事に係るものを除く。）に係る一般競争又は指名競争（以下「競争」という。）を行う場合において、入札者が知り、かつ遵守しなければならない事項は、法令に定めるものの他、この心得に定めるものとする。

2. 入札説明書等

- (1) 入札者は、入札説明書及びこれに添付される仕様書、契約書案、その他の関係資料を熟読のうえ入札しなければならない。
- (2) 入札者は、前項の書類について疑義があるときは、関係職員に説明を求めることができる。
- (3) 入札者は、入札後、(1)の書類についての不明を理由として異議を申し立てることができない。

3. 入札保証金及び契約保証金

環境省競争参加資格（全省庁統一資格）を保有する者の入札保証金及び契約保証金は、全額免除する。

4. 入札書の書式等

入札者は、様式1による入札書を提出しなければならない。ただし、電子調達システムにより入札書を提出する場合は、同システムに定めるところによるものとする。

なお、入札説明書において「電子調達システムにより入札書を提出すること」と指定されている入札において、様式1による入札書の提出を希望する場合は、様式3による書面を作成し、入札説明書で指定された日時までに提出しなければならない。

5. 入札金額の記載

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

6. 入札書の提出

- (1) 入札書を提出する場合は、入札説明書において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約の上提出すること。なお、書面により入札する場合は、誓約事項に誓約する旨を入札書に明記することとし、電子調達システムにより入札した場合は、当面の間、誓約事項に誓約したものとして取り扱うこととする。
- (2) 書面による入札書は、封筒に入れ封印し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその

名称又は商号)、宛名(支出負担行為担当官 国立水俣病総合研究センター総務課長殿と記載)及び「平成27年3月20日開札〔平成27年度国立水俣病総合研究センターDiscovery MR750システム保守点検業務〕の入札書在中」とと朱書きして、入札日時までに提出すること。また、競争参加資格を証明する書類を開札日時までに提出すること。

- (3) 電子調達システムにより入札する場合は、同システムに定める手続に従い、入札日時までに入札書を提出すること。通信状況により提出期限内に電子調達システムに入札書が到着しない場合があるので、時間的余裕を持って行うこと。

7. 代理人等(代理人又は復代理人)による入札及び開札の立会い

代理人等により入札を行い又は開札に立ち会う場合は、代理人等は、様式4による委任状を持参しなければならない。また、代理人等が電子調達システムにより入札する場合には、同システムに定める委任の手続きを終了しておかなければならない。

8. 代理人等の制限

入札者又はその代理人等は、当該入札に係る他の入札者の代理人等を兼ねることができない。

9. 入札の無効

次の各項目の一に該当する入札は、無効とする。

- ① 競争に参加する資格を有しない者による入札
- ② 指名競争入札において、指名通知を受けていない者による入札
- ③ 委任状を持参しない又は電子調達システムに定める委任の手続きを終了していない代理人等による入札
- ④ 書面による入札において記名押印(外国人又は外国法人にあつては、本人又は代表者の署名をもって代えることができる。)を欠く入札
- ⑤ 金額を訂正した入札
- ⑥ 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- ⑦ 明らかに連合によると認められる入札
- ⑧ 同一事項の入札について他人の代理人等を兼ね又は2者以上の代理をした者の入札
- ⑨ 入札者に求められる義務を満たすことを証明する必要がある入札にあつては、証明書が契約担当官等の審査の結果採用されなかった入札
- ⑩ 入札書の提出期限までに到着しない入札
- ⑪ 別紙において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約しない者による入札
- ⑫ その他入札に関する条件に違反した入札

10. 入札の延期等

入札参加者が相連合し又は不穏の行動をする等の場合であつて、入札を公正に執行することができない状態にあると認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し若しくはとりやめることがある。

11. 開札の方法

- (1) 開札は、入札者又は代理人等を立ち合わせて行うものとする。ただし、入札者又は代理人等の立会いがない場合は、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせて行うことができる。
- (2) 電子調達システムにより入札書を提出した場合には、入札者又は代理人等は、開札時刻に端末の前で待機しなければならない。
- (3) 入札者又は代理人等は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は委任状を提示しなければならない。
- (4) 入札者又は代理人等は、開札時刻後においては開札場に入場することはできない。
- (5) 入札者又は代理人等は、契約担当官等が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。
- (6) 開札をした場合において、予定価格の制限内の価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行うものとする。電子調達システムにおいては、再入札を行う時刻までに再度の入札を行うものとする。なお、開札の際に、入札者又は代理人等が立ち会わず又は電子調達システムの端末の前で待機しなかった場合は、再度入札を辞退したものとみなす。

12. 落札者となるべき者が2者以上ある場合の落札者の決定方法

当該入札の落札者の決定方法によって落札者となるべき者が2者以上あるときは、直ちに当該者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。なお、入札者又は代理人等が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

13. 落札決定の取消し

落札決定後であっても、入札に関して連合その他の事由により正当な入札でないことが判明したときは、落札決定を取消すことができる。

14. 契約書の提出等

- (1) 落札者は、契約担当官等から交付された契約書に記名押印（外国人又は外国法人が落札者である場合には、本人又は代表者が署名することをもって代えることができる。）し、落札決定の日から10日以内（期終了の日が行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する日に当たるときはこれを算入しない。）に契約担当官等に提出しなければならない。ただし、契約担当官等が必要と認めた場合は、この期間を延長することができる。
- (2) 落札者が前項に規定する期間内に契約書を提出しないときは、落札は、その効力を失う。

15. 契約手続において使用する言語及び通貨

契約手続において使用する言語は日本語とし、通貨は日本国通貨に限る。

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記事項について、入札書（見積書）の提出をもって誓約いたします。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、官側の求めに応じ、当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの（生年月日を含む。）。ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）及び登記簿謄本の写しを提出すること並びにこれらの提出書類から確認できる範囲での個人情報警察に提供することについて同意します。

記

1. 次のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。

(1) 契約の相手方として不適当な者

ア 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

(2) 契約の相手方として不適当な行為をする者

ア 暴力的な要求行為を行う者

イ 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

ウ 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

エ 偽計又は威力を用いて会計課長等の業務を妨害する行為を行う者

オ その他前各号に準ずる行為を行う者

2. 暴力団関係業者を再委託又は当該業務に関して締結する全ての契約の相手方としません。

3. 再受任者等（再受任者、共同事業実施協力者及び自己、再受任者又は共同事業実施協力者が当該契約に関して締結する全ての契約の相手方をいう。）が暴力団関係業者であることが判明したときは、当該契約を解除するため必要な措置を講じます。

4. 暴力団員等による不当介入を受けた場合、又は再受任者等が暴力団員等による不当介入を受けたことを知った場合は、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うとともに、発注元の契約担当官等へ報告を行います。

入 札 書

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

印

(復) 代理人

印

注) 代理人又は復代理人が入札書を持参して入札
する場合に、(復) 代理人の記名押印が必要。
このとき、代表印は不要 (委任状には必要)。

下記のとおり入札します。

記

- 1 入札件名：平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750
システム保守点検業務
- 2 入札金額：金額 _____ 円
- 3 契約条件：契約書及び仕様書その他一切貴省の指示のとおりとする。
- 4 誓約事項：暴力団排除に関する誓約事項に誓約する。

様式2

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

印

電子入札案件の電子入札方式での参加について

下記入札案件について、電子調達システムを利用して入札に参加をいたします。

記

入札件名：平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750
システム保守点検業務

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

印

電子入札案件の紙入札方式での参加について

下記入札案件について、電子調達システムを利用して入札に参加できないので、紙入札方式での参加をいたします。

記

- 1 入札件名：平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750
システム保守点検業務
- 2 電子調達システムでの参加ができない理由
(記入例) 電子調達システムで参加する手続きが完了していないため

委 任 状

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所
(委任者) 会 社 名
代表者氏名 印

代理人住所
(受任者) 所属(役職名)
氏 名 印

当社 を代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

- 1 平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務の入札に関する一切の件
- 2 1の事項にかかる復代理人を選任すること。

委 任 状

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

代理人住所
(委任者) 所属(役職名)
氏 名 印

復代理人住所
(受任者) 所属(役職名)
氏 名 印

当社 を復代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

平成27年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務の入札に関する一切の件

入札辞退届

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

平成 27 年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務に係る入札を辞退します。

担当者連絡先

部署名 :

担当者名 :

TEL :

FAX :

E-mail :



契 約 書

支出負担行為担当官 国立水俣病総合研究センター総務課長 大竹 敦（以下「甲」という。）は、_____（以下「乙」という。）と「平成27年度国立水俣病総合研究センターDiscovery MR750システム保守点検業務」（以下「業務」という。）について、次の条項により契約を締結する。

（契約の内容）

第1条 乙は、別添の仕様書に基づき業務を行うものとする。

（契約金額）

第2条 契約金額は金 _____ 円（うち消費税及び地方消費税の額 _____ 円）とする。
2 前項の消費税及び地方消費税の額は、消費税法（昭和63年法律第108号）第28条第1項及び第29条並びに地方税法（昭和25年法律第226号）第72条の82及び第72条の83の規定に基づき、契約金額に108分の8を乗じて得た額である。

（履行期間及び履行場所）

第3条 履行期間及び契約場所は次のとおりとする。
履行期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日
履行場所 国立水俣病総合研究センター
 熊本県水俣市浜4058-18
 国保水俣市立総合医療センター
 熊本県水俣市天神町1-2-1

（契約保証金）

第4条 甲は、この契約の保証金を免除するものとする。

（再委任等の禁止）

第5条 乙は、業務の処理を他人に委託し、又は請け負わせてはならない。但し、書面により甲の承諾を得たときはこの限りではない。

（監督）

第6条 乙は、甲の指示監督により業務を行うものとする。
2 業務の遂行にあたって疑義又は不明の点が生じたときは、甲の指示に従うものとする。

（検査及び引渡し）

第7条 乙は、業務を完了したときは業務終了報告書を作成し、その旨を書面により甲に通知しなければならない。
2 甲は、前項の通知を受けたときは、その日から10日以内に検査を行い、検査に合

格した後、乙が成果物の引渡しを申出たときは、直ちにその引渡しを受けなければならない。

- 3 乙は、前項の検査に合格しないときは直ちに修補して甲の検査を受けなければならない。この場合においては、前項の期間は甲が乙から修補を終了した旨の通知を受けた日から起算する。

(契約金額の支払い)

第8条 乙は、前条第2項の検査に合格したときは、契約金額（この契約の締結後、契約金額の変更があった場合には、変更後の契約金額。以下同じ。）の支払いを請求するものとする。

- 2 甲は、前項の規定による適法な請求を受けたときは、その日から起算して30日以内（以下「約定期間」という。）に契約金額を支払わなければならない。

(支払遅延利息)

第9条 甲は、第8条の約定期間内に契約金額を乙に支払わない場合は、約定期間満了の日の翌日から支払いをする日までの日数に応じ、契約金額に対し、政府契約の支払遅延に対する遅延利息の率を定める告示により財務大臣が決定する率を乗じて計算した金額を遅延利息として乙に支払わなければならない。ただし、約定期間内に支払わないことが、天災地変等甲の責に帰すことのできない事由によるときは、当該事由の継続する期間は、遅延利息の算定日数に算入しないものとする。

(仕様書等の変更)

第10条 甲は、必要があると認めるときは、仕様書等の変更内容を乙に通知して、仕様書等を変更することができる。この場合において、甲は、必要があると認められるときは履行期間若しくは契約金額を変更し、又は乙に損害を及ぼしたときは必要な費用を負担しなければならない。

(業務の中止)

第11条 天災地変その他止むを得ない事由により、業務の遂行が困難となったときは、乙は、甲と協議の上契約の解除を行うものとする。

- 2 前項の規定により契約を解除するときは、第7条から9条までの規定に準じ精算する。

(契約の解除)

第12条 甲は、次の各号の一に該当するときは、催告することなくこの契約の全部又は一部を解除することができる。

- 一 乙の責に帰する事由により、乙がこの契約の全部又は一部を履行する見込みがないと認められるとき。
- 二 乙が第5条、第19条又は第20条の規定に違反したとき。
- 三 乙又はその使用人が甲の行う監督及び検査に際し不正行為を行い、又は監督官等の職務の執行を妨げたとき。
- 四 履行期限内に業務結果の提出がなかったとき。

- 2 甲は、乙が次の各号の一に該当すると認められるときは、催告することなくこの契約を解除することができる。

- 一 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の

代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。)が、暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ)又は暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)であるとき

- 二 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
 - 三 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
 - 四 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
 - 五 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき
- 3 甲は、乙が自ら又は第三者を利用して次の各号の一に該当する行為をした場合は、催告することなくこの契約を解除することができる。
- 一 暴力的な要求行為
 - 二 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - 三 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - 四 偽計又は威力を用いて甲等の業務を妨害する行為
 - 五 その他前各号に準ずる行為

(再受任者等に関する契約解除)

第13条 乙は、契約後に再受任者等(再受任者及び共同事業実施協力者並びに乙、共同事業実施協力者又は再受任者が当該契約に関して個別に契約する場合の当該契約の相手方をいう。以下同じ。)が第12条第2項及び第3項の一に該当する者(以下「解除対象者」という。)であることが判明したときは、直ちに当該再受任者等との契約を解除し、又は再受任者等に対し契約を解除させるようにしなければならない。

- 2 甲は、乙が再受任者等が解除対象者であることを知りながら契約し、若しくは再受任者等の契約を承認したとき、又は正当な理由がないのに前項の規定に反して当該再受任者等との契約を解除せず、若しくは再受任者等に対し契約を解除させるための措置を講じないときは、催告することなくこの契約を解除することができる。

(違約金等)

第14条 甲が第12条又は前条第2項の規定により契約の全部又は一部を解除した場合は、乙は契約金額の100分の10に相当する額を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。

- 2 乙が、次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、乙は、甲の請求に基づき、契約金額の100分の10に相当する額を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。

- 一 この契約に関し、乙が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。)第3条の規定に違反し、又は乙が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第8条第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が乙に対し、独占禁止法第7条の2第1項(独占禁止法第8条の3において準用する場合を含む。)の規定に基づく課徴金の納付命令(以下「納付命令」という。)を行い、当該納付命令が確定したとき(確定した当該納付命令が独占禁止法第51条第2項の規定により取り消された場合を含む。)

- 二 納付命令又は独占禁止法第7条若しくは第8条の2の規定に基づく排除措置命令

(これらの命令が受注者又は受注者が構成事業者である事業者団体(以下「乙等」という。)に対して行われたときは、乙等に対する命令で確定したものをいい、乙等に対して行われていないときは、各名宛人に対する命令全てが確定した場合における当該命令をいう。次号において「納付命令又は排除措置命令」という。)において、この契約に関し、独占禁止法第3条又は第8条第1号の規定に違反する行為の実行としての事業活動があったとされたとき。

三 納付命令又は排除措置命令により、乙等に独占禁止法第3条又は第8条第1号の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象となった取引分野が示された場合において、この契約が、当該期間(これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が乙に対し納付命令を行い、これが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。)に入札(見積書の提出を含む。)が行われたものであり、かつ、当該取引分野に該当するものであるとき。

四 この契約に関し、乙(法人にあっては、その役員又は使用人を含む。)の刑法(明治40年法律第45号)第96条の6又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号に規定する刑が確定したとき。

3 乙が前二項の違約金を甲の指定する期間内に支払わないときは、乙は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、年5パーセントの割合で計算した額の遅延利息を甲に支払わなければならない。

(損害賠償)

第15条 甲は、第12条第2項、第3項又は第13条第2項の規定によりこの契約を解除した場合は、これにより乙に生じた損害について、何ら賠償ないし補償することは要しない。

2 乙は、甲が第12条第2項、第3項又は第13条第2項の規定によりこの契約を解除した場合において、甲に損害が生じたときは、その損害を賠償するものとする。

(表明確約)

第16条 乙は、第12条第2項及び第3項のいずれにも該当しないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを確約する。

2 乙は、解除対象者を再受任者等としないことを確約する。

(不当介入に関する通報・報告)

第17条 乙は、自ら又は再受任者等が、暴力団、暴力団員、社会運動・政治運動標ぼうゴロ等の反社会的勢力から不当要求又は業務妨害等の不当介入(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、これを拒否し、又は再受任者等をして、これを拒否させるとともに、速やかに不当介入の事実を甲に報告するとともに、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うものとする。

(かし担保)

第18条 甲は、第7条の規定により引渡しを受けた後1年以内に隠れたかしを発見したときは、直ちに期限を指定して当該かしを修補させることができるものとする。

(秘密の保全)

第19条 乙は、この契約の履行に際し知得した相手方の秘密を第三者に洩らし又は利用

してはならない。

(債権譲渡の禁止)

第20条 乙は、この契約によって生じる権利又は義務の全部若しくは一部を甲の承諾を得た場合を除き第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、信用保証協会及び中小企業信用保険法施行令（昭和25年政令第350号）第1条の2に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあっては、この限りではない。

(紛争又は疑義の解決方法)

第21条 この契約について、甲乙間に紛争又は疑義を生じた場合には、必要に応じて甲乙協議して解決するものとする。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自1通を保有する。

平成27年 月 日

甲 住所 熊本県水俣市浜4058-18
氏名 支出負担行為担当官
国立水俣病総合研究センター
総務課長 大竹 敦



乙 住所
氏名



平成 27 年度国立水俣病総合研究センター Discovery MR750 システム保守点検業務 仕様書

1. 業務の目的

国立水俣病総合研究センター(以下、「国水研」という。)が設置する Discovery MR750 システム 1 式について、健全に使用可能な状態とするために、十分な予防保全、調整を行うとともに万一のトラブルに対しては、迅速な修理活動等を行うことを目的とする。

2. 保守業務対象機器及び設置場所

(1) 保守業務対象機器

Discovery MR750 システム(以下、「機器」という。) 一式
(保守点検対象品は別紙 1 のとおり)

(2) 設置場所

熊本県水俣市天神町 1-2-1 国保水俣市立総合医療センター

3. 業務期間

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までとする。

4. 業務内容

(1) 定期的に必要な保守・点検を実施し、定期的に交換を必要とする部品(定期交換部品)の交換作業を行うこと。

点検・保守作業は別紙 1 「保守点検対象品」に掲げる機器について保守・点検を実施し、その都度、保守・点検内容及び結果を記載した作業報告書並びに定期保守点検記録(別紙 2)を提出して、国水研担当者の確認を得ること。

なお、定期交換部品以外の消耗品については、契約額の 1%までの金額のアクセサリケアの対応を行うこと。

(2) 定期点検は年 4 回実施し、1 回目～3 回目は 1 名、4 回目の点検は総合点検として 2 名の技術員を派遣すること。実施時期については契約内容に基づき国水研担当者と打ち合わせのうえ決定すること。

(3) 電話回線によるリモート診断システムによりリモートによるサポートを随時受けられるよう体制を整備すること。

(4) 毎日リモートにてヘリウムレベル、内圧等をチェック・分析し状況把握を行うことでトラブルを予防すること。

(5) 「Tip VA」取扱等で不明な点などはリモートシステムを使用し遠隔指導による操作説明を行うこと。

(6) 機器の運用に必要なソフトウェアが業務期間中にバージョンアップされた場合には、国水研担当者に情報提供し、国水研担当者の指示によりバージョンアップ作業を行うこと。

(7) 業務期間中に機器に不具合または故障が発生したときは、緊急保守を実施し、速や

かに機器の機能を正常状態に復旧すること。

- (8) 定期点検及び不具合または故障が発生した場合において部品交換が必要となった場合には速やかに交換すること。
- (9) このほか、本仕様書の範囲を超える不具合又は故障を発見した場合には、直ちに国水研担当者に報告の上、修繕報告書（仕様、構成図、積算に必要な資料等を添付）を作成して提出すること。
- (10) 保守点検作業の実施に際しては、対象機器の製造業者に保守点検作業の詳細を確認し、確実な保守点検作業が実施できる体制を構築すること。保守点検作業の実施体制に関する資料を提出し、国水研担当者の確認を得ること。

4. 作業要員

- (1) 請負者は、各点検時に定期点検に必要な熟練した技術員を派遣し保守点検作業を実施すること。又、緊急保守業務に関しても同様とする。
- (2) 請負者は、国水研担当者から装置の障害発生等の通知があった場合には、機器の機能を正常状態に復旧するため、速やかに技術員を派遣すること。
- (3) 請負者は、本業務の身元、風紀、衛生及び規律の維持その他業務上の行為に関して一切の責任を負うこと。
- (4) 国水研担当者が、請負者が派遣する本業務の従事者による業務の履行について著しく不適当と認め、対応を求めた場合は、迅速に必要な措置をとること。
- (5) 保守点検に際して、日常的に行う軽微な保守点検業務の実施が必要な場合、定期的な保守・点検のうち軽微な作業については、当該作業を確実に実施できる者であることを請負者が保証し国水研担当者の確認を得た場合においては外注して差し支えない。

5. 著作権等の扱い

- (1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は、環境省が保有するものとする。
- (2) 請負者は、自ら制作・作成した著作物に対し、いかなる場合も著作権者人格権を行使しないものとする。
- (3) 成果物に含まれる請負者又は第三者が権利を有する著作物等（以下、「既存著作物」という。）の著作権等は、個々の著作者等に帰属するものとする。
- (4) 納入される成果物に既存著作物等が含まれる場合には、請負者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行うものとする。

6. 情報セキュリティの確保

請負者は、下記の点に留意して、情報セキュリティを確保するものとする。

- (1) 請負者は、請負業務の開始時に、請負業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制について環境省担当官に書面で提出すること。
- (2) 請負者は、環境省担当官から要機密情報を提供された場合には、当該情報の機密性の格付けに応じて適切に取り扱うための措置を講ずること。

また、請負業務において請負者が作成する情報については、環境省担当官からの指示に応じて適切に取り扱うこと。

(3) 請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行が不十分と見なされるとき又は請負者において請負業務に係る情報セキュリティ事故が発生したときは、必要に応じて環境省担当官の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。

(4) 請負者は、環境省担当官から提供された要機密情報が業務終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。

また、請負業務において請負者が作成した情報についても、環境省担当官からの指示に応じて適切に廃棄すること。

(5) 請負者は、請負業務の終了時に、本業務で実施した情報セキュリティ対策を報告すること。

(参考) 環境省情報セキュリティポリシー

<http://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

7. その他

(1) 請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難しい事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、国立水俣病総合研究センター担当官と速やかに協議しその指示に従うこと。

(別添)

1. 報告書等の仕様及び記載事項

報告書等の仕様は、「環境物品等の調達に関する基本方針」（平成 26 年 2 月 4 日閣議決定。以下「基本方針」という。）の「印刷」の判断の基準を満たすこと。

なお、「資材確認票」（基本方針 190 頁、表 3 参照）及び「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト」（基本方針 191 頁、表 4 参照）を提出するとともに、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙等に表示すること。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます
この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [A ランク] のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は環境省担当官と協議の上、基本方針 (<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html>) を参考に適切な表示を行うこと。

2. 電子データの仕様

- (1) Microsoft 社 WindowsXP SP 3 上で表示可能なものとする。
- (2) 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。
 - ・ 文章：Microsoft 社 Word（ファイル形式：Word 2007 以上）
 - ・ 計算表：表計算ソフト Microsoft 社 Excel（ファイル形式：Excel 2007 以上）又は CSV ファイル形式
 - ・ 画像：BMP 形式又は JPEG 形式
- (3) (2) による成果物に加え、「PDF ファイル形式」による成果物を作成すること。
- (4) 以上の成果物の格納媒体は DVD-R 等とする。事業年度及び事業名称等を収納ケース及び DVD-R 等に必ずラベルにより付記すること。
- (5) 文字ポイント等、統一的な事項に関しては国立水俣病総合研究センター担当官の指示に従うこと。

3. その他

成果物納入後に請負者側の責めによる不備が発見された場合には、請負者は、無償で速やかに必要な措置を講ずること。

保守対象商品の構成

	品目
PGR キャビネット/MDP ボックス	レシーバーモジュール
	パワーディストロビューションモジュール
	イメージコンピュータノード
	カムモジュール
	RF アンプ
	電源モジュール
	MDP ボックス
熱交換キャビネット	脱イオンフィルターカートリッジ
	ブロアーキット
	Cryogen コンプレッサー フローメーター
	ミキシングバルブキット
冷凍機	コールドヘッド
	シールドクーラーコンプレッサー
ペネトレーションキャビネット	シム サブライモジュール
	ドライバーモジュール
	エキサイターモジュール
	S R P S コントロールボードアッセンブリ
	スキャンルームパワーサブライ
ペネトレーションパネル/セカンダリーペネトレーションウォール	デュアル ブロアー ボックス
	ハイ オーダー シム フィルタ アッセンブリ
	XRMB グラディエント フィルタ アッセンブリ
患者テーブル	コネクタペダル アッセンブリ
	ポンプペダル アッセンブリ
	アンドック、ドックアッセンブリ
	クレードル アッセンブリ
ガントリー/エンクロージャー	LPCA アッセンブリ
	RF ハブ アッセンブリ
	3 T ハイブリット ボディーアッセンブリ
	TDM モジュール
	リモートレシーバーモジュール
	PAC 5
	コントロールパネル
マグネット	MRU アッセンブリ
	マグネットモニター
酸素モニター	酸素センサー
オペレーターワークスペース/コンピュータ・コンソール	GOC コンピュータ アッセンブリ
	ホスト 24 インチ LCD モニター
	3 ボタン USB マウス
	キーボード
	SCIM アッセンブリ
コイル	3 TGP フレックスコイル
	3 T ヘッドネックスパインコイル
	8 チャネルブレストコイル
	3 2 チャネルボディアレイコイル
	3 2 チャネルブレインアレイコイル

国立水俣病総合研究センター 殿		作業報告書 SERVICE RECORD		訪問日 : 平成 年 月 日	
現象	項目	内容	開始	国水研署名欄	
			:		
			終了		
			:		
				使用カウント	使用時間(H)/ ヘリウム残量(%)
			今回		
			前回		
			合計		
項目別作業時間					
調査 / 確認内容および処置			項目	時間	
動作確認					

磁気共鳴画像診断装置(Discovery MR750/750w)定期点検整備記録

国立水俣病総合研究センター 殿		点検種類	ヶ月点検	点検作業者	
		点検実施日	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		

コード	点検項目	基準値	結果	測定値/備考	6月	9月	12月	3月
PGRキャビネット/MDPボックス								
01	キャビネットの外観清掃							○
02	エアフィルターの清掃(交換)				○	○	○	○
03	UPM Functional Checkの実施							○
04	キャビネット内部の目視確認				○	○	○	○
05	リークセンサーの動作確認						○	
06	エマージェンシーオフ/ストップの確認						○	
07	MDPバッテリーの確認(交換)	12V		5年毎交換			○	

熱交換キャビネット

01	キャビネットの外観清掃							○
02	キャビネット内部の目視確認				○	○	○	○
03	冷凍機冷却水用フィルターの清掃(交換)				○	○	○	○
04	冷却水の水量確認				○	○	○	○
05	冷却水の脱イオンろ過						○	

熱交換キャビネット用 水冷却装置(保守契約には含まれない)

01	外観、水漏れ確認を国水研に依頼					○		○
02	水温設定の確認を国水研に依頼							○

冷凍機

01	冷凍機の外観清掃							○
02	冷凍機の目視確認				○	○	○	○
03	コンプレッサの作動圧力確認	※1				○		○
04	コンプレッサの積算時間計の記録					○		○
05	アドソーバ使用時間の確認(交換)			F-50の場合 時間使用 目安30,000時間	○	○	○	○
06	コールドヘッド稼働月数の確認(交換)		S/N	ヶ月稼働	○	○	○	○

整備内容:異常なし(指導実施済み):レ 調整:A 修理:R 補充:F 締付け:T
 交換:E 清掃:C 注油:O 測定:M データ保存:S 該当せず:- 異常:×

コード	点検項目	基準値	結果	測定値/備考	6月	9月	12月	3月
ペネトレーションキャビネット								
01	キャビネットの外観清掃							○
02	エアフィルターの清掃(交換)					○		○
03	キャビネット内部の目視確認				○	○	○	○

ペネトレーションパネル/セカンダリーペネトレーションウォール

01	目視確認					○		○
02	ブローボックスのエアフィルター清掃				○	○	○	○
03	ブローボックスのプロアファン確認				○	○	○	○
04	ボディーコイル用エアフィルターの清掃(交換)					○		○

患者テーブル

01	患者テーブルの清掃、目視チェック				○	○	○	○
02	テーブルペダルでのダウン時間の測定	15秒以内				○		○
03	テーブルペダルでのアップ時踏み込み回数の測定	15回以内				○		○
04	キャスターのロック機構の確認					○		○
05	クレードルロック状態の確認					○		○
06	ドック動作の確認					○		○
07	患者テーブルの緊急リリース確認					○		○
08	クレードルの緊急リリース確認					○		○
09	テーブルダウンインタロックの確認					○		○
10	オイル量の確認	※2						○
11	ドックペダルのスプリングの確認(交換)			5年毎交換				○

※1 静止圧で1.6Mpa~1.65Mpa 動作状態1.9~2.2Mpa

※2 FULLラインより上に 0.635~0.95センチの間

磁気共鳴画像診断装置(Discovery MR750/750W)定期点検整備記録

コード	点検項目	基準値	結果	測定値/備考	6月	9月	12月	3月
-----	------	-----	----	--------	----	----	-----	----

ガントリー/エンクロージャ

01	カバー/ブリッジの目視確認、清掃				○	○	○	○
02	操作ボタンの動作確認					○		○
03	表示パネル/ライトの動作確認					○		○
04	不要な磁性体の有無を確認					○		○
05	ECGケーブルの外観、動作確認					○		○
06	患者アラーム機能の動作確認					○		○
07	PAC漏れ電流試験			PAC漏れ電流試験記録表に測定値を記入			○	

マグネット

01	ヘリウムレベルの確認			Refill必要か確認	○	○	○	○
02	Boil Off Rateの確認			データある場合のみ	○		○	
03	内圧の確認	4Psi±0.1			○		○	
04	排気管/Weep holeの目視確認						○	
05	排気管の全接続部分の増締め						○	
06	マグネット上部の目視確認				○		○	
07	開閉(V2)バルブの確認			バルブ閉じている事	○		○	
08	MRUのテスト			3年毎バッテリー交換	○	○	○	○

酸素モニター

01	モニターの外観清掃				○		○	
02	モニターの機能確認	20.9%			○		○	
03	センサー交換			3年毎交換	○		○	
04	強制排気の動作確認			酸素モニターと連動すること	○		○	

環境

01	機械室の温度(結露なきこと)	15~32℃			○	○	○	○
02	機械室の湿度(結露なきこと)	30~70%			○	○	○	○
03	RFドアスイッチの動作確認					○		○
04	RFドアのシールドフィンガー目視確認					○		○

コード	点検項目	基準値	結果	測定値/備考	6月	9月	12月	3月
-----	------	-----	----	--------	----	----	-----	----

オペレーターワークスペース/コンピューター・コンソール

01	キャビネット等の外観清掃				○	○	○	○
02	ダストフィルターの清掃(交換)				○		○	
03	モニターの清掃				○	○	○	○
04	キーボード清掃/マウス清掃(交換)			2年毎交換	○	○	○	○
05	キーボード/マウス動作確認				○	○	○	○
06	オーディオの動作確認					○		○
07	接続ケーブルの確認					○		○
08	システムデータの保存			saveINFO		○		○
09	システムの時間設定の確認				○	○	○	○

システム全般

01	アライメントライトの確認				○	○	○	○
02	DQAII キャリブレーションの実施					○		○
03	Save Frequencyの実施				○	○	○	○
04	PM Test(LVShim,WP,SPT)のCheck実施	※3		PM ASSISTの実施	○	○	○	○
05	Dual Drive Quadratureのキャリブレーション実施						○	
06	オーバーナイトダイアグの確認				○	○	○	○
07	ワンワイヤネットワークダイアグの実施					○		
08	不要ファイルのクリーンアップ					○		
09	パッチファイルの確認、更新				○	○	○	○
10	Head Coilの外観確認					○		○
11	P-portコネクタの清掃グリスアップ					○		○

※3 すべてのテスト項目をPASSすること

整備内容:異常なし(指導実施済み):レ 調整:A 修理:R 補充:F 締付け:T
交換:E 清掃:C 注油:O 測定:M データ保存:S 該当せず:- 異常:X

磁気共鳴画像診断装置(Discovery MR750/750W)定期点検整備記録

コード	点検項目	基準値	結果	測定値/備考	6月	9月	12月	3月
-----	------	-----	----	--------	----	----	-----	----

薬事銘板の確認

01	薬事銘板の確認					○		○
02	サーフェイスコイルの薬事銘板の確認					○		○

全作業完了の確認

01	点検作業後の復旧確認			開いたドア、カバーなど	○	○	○	○
02	最終DQAスキャン				○	○	○	○
03	作業で発生したイメージ消去				○	○	○	○

安全指導 * 操作説明書を用いて指導

01	高磁場の注意の説明 実施							○
02	RFやけどの注意の説明 実施							○
03	酸素濃度の注意の説明 実施							○
04	MRU、Emergency Stopの説明 実施							○
05	冷媒の注意、クエンチの説明 実施							○
06	ヘリウムレベル管理の説明							○

サーフェイスコイル3.0T

コード	点検項目	ケーブル被覆確認	ネジ緩み確認	コネクタ確認	コイル本体確認	ShockWatch確認	備考/設定名称	6月	9月	12月	3月
01	3T GPフレックスコイル							○	○	○	○
02	3Tヘッドネックスパインアレイコイル							○	○	○	○
03	8チャンネルプレストコイル							○	○	○	○
04	32チャンネルボディアレイコイル3.0T							○	○	○	○
05	32チャンネルブレインアレイコイル3.0T							○	○	○	○

整備内容:異常なし(指導実施済み):L 調整:A 修理:R 補充:F 締付け:T
 交換:E 清掃:C 注油:O 測定:M データ保存:S 該当せず:- 異常:X

磁気共鳴画像診断装置(Discovery MR750/750W)定期点検整備記録

項目	試験規格	試験方法	試験結果
患者漏れ電流 I	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以下でのACモード 0.1mA (100μ A) 以下	μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのACモード 10mA (10000μ A) 以下	μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのDCモード 0.01mA (10μ A) 以下	μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA

項目	試験規格	試験方法	試験結果
患者測定電流	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以下でのACモード 0.1mA (100μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのACモード 10mA (10000μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのDCモード 0.01mA (10μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以下でのACモード 0.1mA (100μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのACモード 10mA (10000μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのDCモード 0.01mA (10μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのDCモード 0.01mA (10μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA

項目	試験規格	試験方法	試験結果
患者測定電流	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以下でのACモード 0.1mA (100μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのACモード 10mA (10000μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのDCモード 0.01mA (10μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以下でのACモード 0.1mA (100μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのACモード 10mA (10000μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのDCモード 0.01mA (10μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA
	接地クラス I、装着部BF形機器、正常状態 周波数成分:1kHz以上でのDCモード 0.01mA (10μ A) 以下	ECG端子の組合せ LL⇔RA+RL+LA μ AとmA、単位を選択すること⇒	μ A以下 μ A mA

(JIS T0601-1に準ずる)

年に1回実施する項目のため、実施月でない場合は、試験結果記入欄に斜線を記入。

基本的に9ヶ月点検時に実施。

それぞれの試験結果について適合/不適合のどちらかを○で囲み、測定結果を記入。

測定した結果については、測定器に表示されている有効数字をできるだけ正確に記入。

1μ A以下の表示がされた場合、“1”と記入し、μ A以下を○で囲む。

1μ Aより大きい場合、測定値を記入し、単位についてはμ A/mAのどちらかを○で囲み選択。

測定器については、指定された機器で、正しく校正された物を使用。

